

# 優しい誘拐犯



東郷 潤

朝、子供たちが学校へ行くところです。

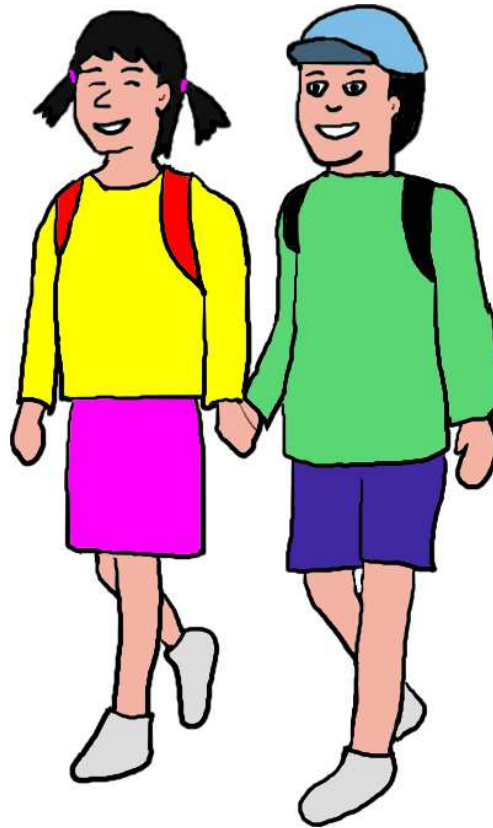
**知らない人に声を掛けられても、  
お喋りしたらダメよ。  
誘拐犯かも知れないから**



**誰に対しても親切にね。  
そしたら、お小遣いを  
もらえるかも**

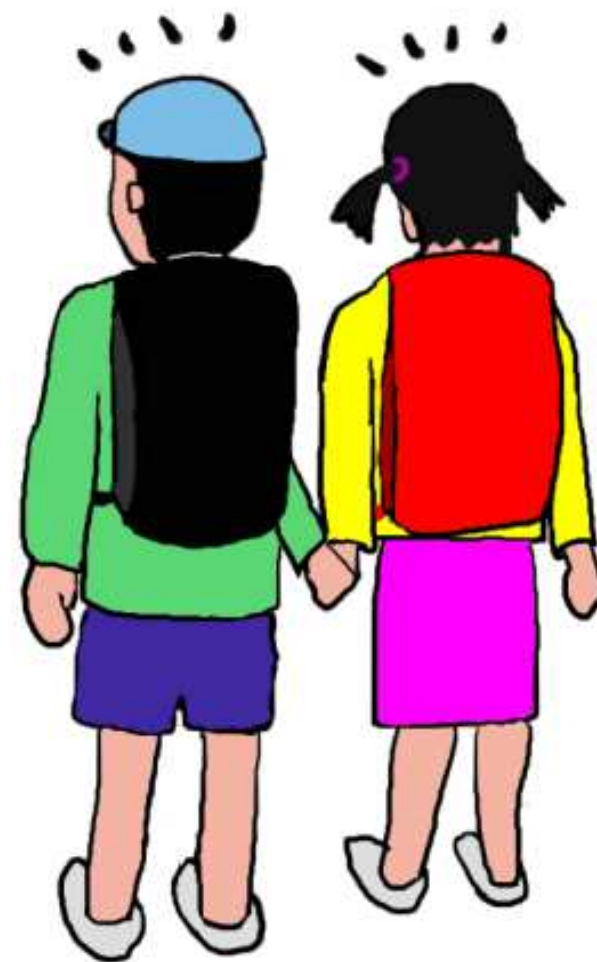
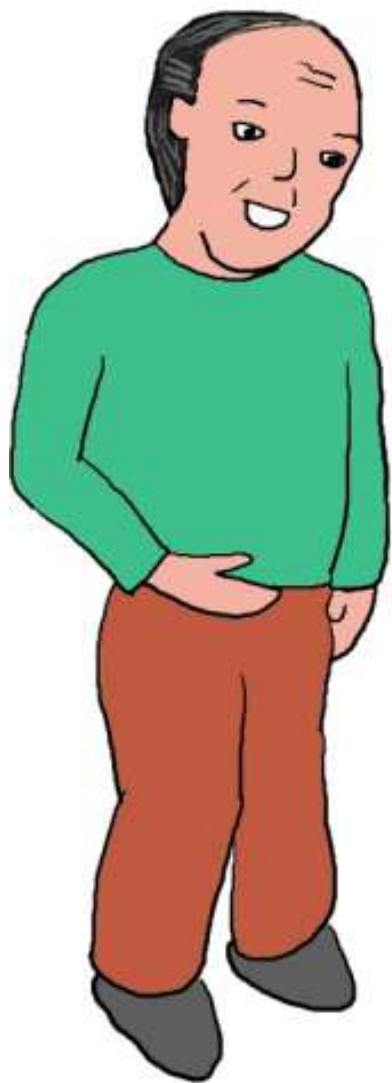


お母さんとさよならをして、子供たちは一緒に学校へと向かいます。



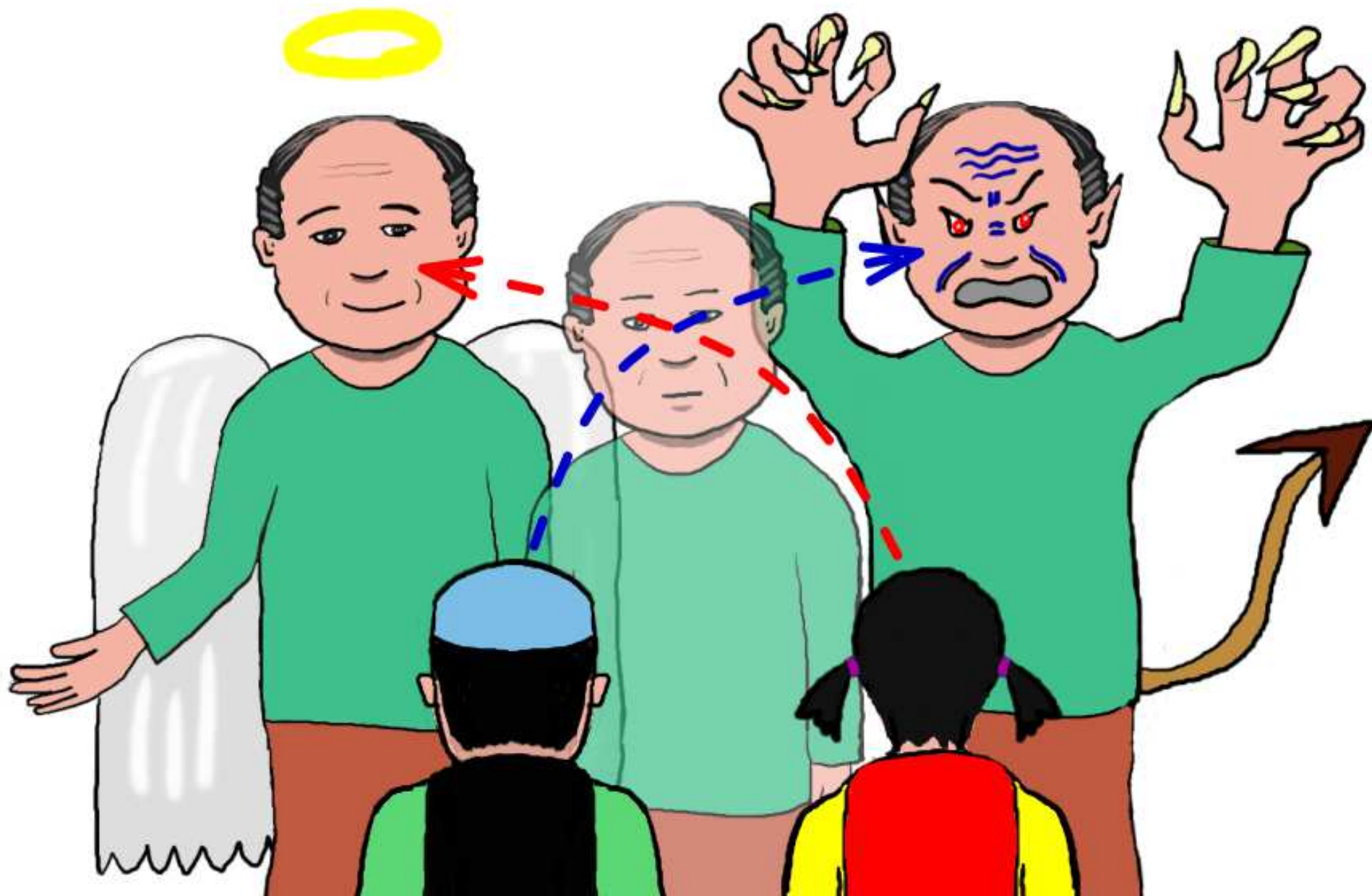
そこへ、ひとりの男性が声をかけて  
きました。

ねえ、君たち。  
郵便局どこにあるか、  
知らないかい？



**男の子はこの男性を誘拐犯かもと思  
いました。女の子はこの男性を、お  
小遣いをくれる優しいおじさんかも  
と思いました。**







子供たちの男性への認識は、それぞれ全く違うものとなったのです。  
このように、全く同じ人に対する人々の認識が全く異なってしまふことは、全く珍しいことでは有りません。

**キャー、  
誘拐されるっ！**



**おんぶしてくれる？  
そしたら、郵便局に  
連れてってあげる**

**はい、はい**



**お小遣いも  
ちょうだい**

## あとがき ー絵本「優しい誘拐犯」

本絵本は差別をテーマとする絵本集の1作品です。

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、ぜひ他の方にもご紹介いただきたくお願い致します。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です  
(商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除

きます)。また下記WEBからは、東郷潤の他の  
絵本やメッセージをダウンロードすることが出  
来ます。

[www.j15.org](http://www.j15.org)

©Jun Togo 2013